

第22回日本・スペイン・シンポジウム
(テーマ：国際社会の転換期における日本・スペイン関係)
2022年10月5日(於：京都)
(プログラム案)

※プログラムは変更になる可能性があります。

10月5日(水) (於：けいはんなプラザ)
8:30-9:00 受付

9:00-9:30 開会式

9:30-10:15 セッション1 国際的な新たな地政学的環境：明日の世界における日本とスペイン

ロシアによるウクライナ侵略により世界の局面が劇的に変化した。ロシアへの制裁、ウクライナ支援に当たって、G7やNATO加盟国を始めとする同志国間の結束が強化された一方で、中国はロシアの行動を非難していない。それに加えて、先日の米国下院議長の訪問で、台湾をめぐる緊張が高まっている。このセッションでは、既存の国際秩序が脅威にさらされている中での日本とスペインの役割について、特に両国の共通の優先課題や潜在性のある協力分野に焦点を当てて分析する。

10:15-11:00 セッション2 経済安全保障：不確実性の中でのバリューチェーンの強化

経済安全保障の概念が、世界中で決定的に重要なものとなった。グローバル・バリューチェーンは新型コロナウイルス感染症拡大によって混乱し、その状況はロシアによるウクライナ侵略によって引き起こされた不安定化という新しいベクトルによって更に悪化した。この文脈において、各国が技術、資源、一次産品へのアクセスを確保できる能力が一層重要になっている。日本は、経済安全保障担当大臣を任命し、この問題に取り組んでおり、EU及びスペインでも経済安全保障が主要論点となっている。このセッションでは、日本、スペインそれぞれの経済安全保障面の主な課題や両国で協力できる分野について意見交換を行う。

11:15-13:20 セッション3 今後の経済におけるビジネス協力

日本とスペインとの間で、特に今後の発展が見込まれる業種における日本とスペインとの企業・機関連携のグッドプラクティスとなるような、経験、成功事例、視点、考え方を紹介する。両国での成功事例を踏まえた各社との一連の対談をつなげていくことにより、両国の関係強化につながる分野を模索する。

13:30-14:45 外務省主催昼食会

15:00-15:45 セッション4 言語の果たす役割：スペインにおける日本語、日本におけるスペイン語

言語の普及は、特に若者を中心とした両国の交流に寄与する重要な要素の一つ。語学は、その国の文化、価値、アイデンティティを伝えることができる重要な手段。このセッションでは、言語の経済を踏まえて、世界における日本語とスペイン語の状況や二国間関係の文脈での日本語とスペイン語のポテンシャル、すなわちスペインにおける日本語、日本におけるスペイン語について意見交換を行う。

16:15－16:45 セッション5 観光：両国におけるコロナ後を見据えた観光振興

観光立国である日本とスペインは、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、深刻な影響を受けた。観光を通じた地域振興や持続的な観光に向けた取組など、日本とスペインそれぞれがこれから取り組む観光振興策を踏まえ、両国間の交流の一層の拡大に向けた意見交換を行う。

16:45－17:15 セッション6 食：相互理解の促進を後押しする両国の食文化とそのインパクト

食は日本とスペインそれぞれの国を説明するための最良の材料である。食はその国の社会だけでなく、国のイメージを表す最も価値のある手段。日本とスペインはその豊かな食文化、大きな世界的プレゼンス、補完性により、世界のガストロノミーの分野で高い評価を得ている。それぞれの国の食文化を紹介しつつ、日本でのスペイン料理の影響、スペインでの日本料理の影響にも触れる。

17:15－17:40 西日財団による授賞式

17:40－18:00 閉会式